



北海道日高高等学校

〒055-1130 北海道沙流郡
日高町松風町一丁目一六番地の二
<http://www.hokkaido-hidaka-hs.jp/>



二〇二一年の結びにあたり

北海道日高高等学校長

谷 尊 仁

二〇二一年（令和三年）も年度当初から新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した上での教育活動となりました。そういった状況の中ではありましたが、やれることを最大限にやってきましたつもりであります。

ゴールデンウィーク明けから、日を迫って三名の生徒が、新型コロナウイルスに感染し、生徒全員が濃厚接触者となりました。五月二十七日まで休校の措置を執り、日高町教育委員会と連携しながら対応し、更なる感染者を出さずにすみました。

七月には、学校祭である「こもれび祭」を開催しました。日高地区にお住まいの方に限定した公開でしたが、生徒の様子を地域の方々に見て頂くことができました。

二年生の見学旅行も当初の予定より一カ月遅らせて、さらに見学地も長崎に変更しました。大浦天主堂やグラバー園・出島など歴史的な建造物を見学し、平和記念公園や原爆資料館などで平和の尊さを

学び、Huis Ten Bosch（ハウステンボス）のイルミネーションを見るなど有意義な旅行を実施することができました。

今年度も残り三か月となりましたが、コロナ禍での「新しい生活様式」を徹底しながら、生徒たちの成長のために、安心安全を最優先に教育活動の充実を図っているところであります。保護者や地域の皆様におかれましては、今後とも産業学習並びに本校の教育活動にご支援・ご協力をお願い致します。

これから年末年始を含め一十三日間の冬季長期休業期間となり、生徒達はそれぞれの親元へ里帰りをすることとなります。久しぶりの家族団欒を過ごして、三学期に向けて生徒の活力になればと思います。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大がまだまだ予断を許さない状況にあります。感染予防対策の徹底のために、「ご家庭でも外出する際には、正しいマスクの着用」「手

指消毒」「三密の回避」の徹底をご指導の程よろしくお願い致します。
令和四年が明るい年になることを祈念して、令和三年最後のご挨拶と致します。



2年生・見学旅行の様子（平和公園）



授業参観・山岳太鼓披露

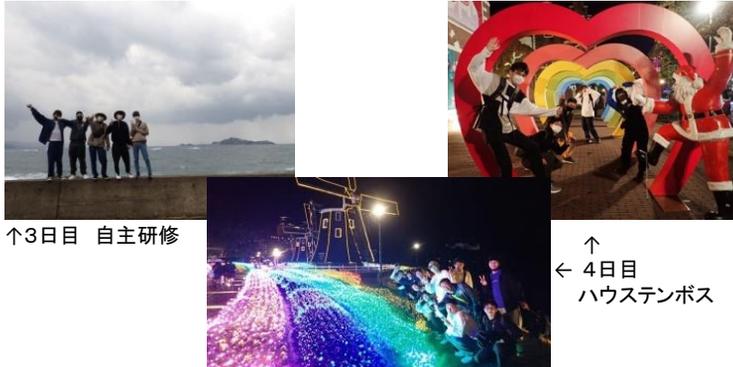
見学旅行を終えて

2学年担任 小高 幹雄

十一月八日～十一月十二日の五日間、生徒十一名と引率三名で長崎県に見学旅行へ行ってきました。当初は例年通り沖縄県での実施を予定していたのですが、夏休み中に沖縄で急激な新型コロナウイルスの感染拡大がありました。道からも「緊急事態宣言・まん防が出ている都道府県を行き先としないように」という旨の通知が来たこともあり、ひとまず1か月延期。さらに収束の見通しが立たないことから、行き先を長崎県に変更することになりました。当初は実施も危ぶまれるような状況でしたが、引率団の先生や旅行会社の皆様をはじめ、その他各団体のご協力もあり何とか無事に実施することが出来ました。

長崎では大浦天主堂やグラバー園、原爆資料館などを巡り、歴史学習、平和学習ともに非常に充実した旅行になりました。三日目の自主研修は丸一日グループごとでの研修になりました。生徒たちがそれぞれ作成した計画通りに行動し、思い出に残る一日にするのが出来たようです。また四日目のハウステンボスを満喫し、最後は全員でイル

ミネーションやショーを楽しんでいました。担任としては、とにかく「楽しかった！」という声が多かったのも、それで大成功かなと思います。卒業まで残り一年ほどになりました。この先も色々なことがあると思いますが卒業に向かってクラス全員で一歩一歩進んでいきたいと思っています。最後に本旅行実施にあたり、大変ご心配をお掛けしたと思いますが、温かく見守って下さいました保護者の皆様方に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



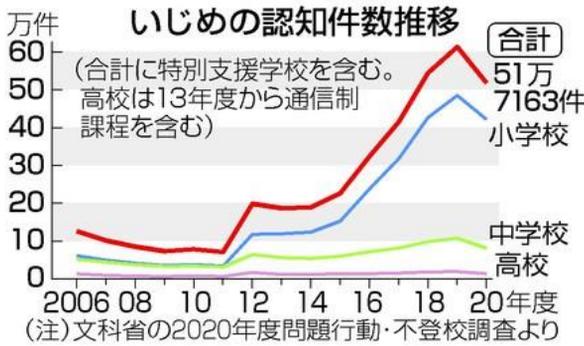
↑3日目 自主研修

↑4日目
←ハウステンボス

令和三年度いじめの把握のためのアンケート調査を終えて

教頭 久慈 盛政

文部科学省が十月に発表した「令和二年度の児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、小・中・高等学校および特別支援学校のいじめの認知(発生)件数は約五十二万件で、前年度比約九万五千件減と大幅に減少しています(左図参照)。



この背景について文科省は、令和二年度年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、

生活環境が変化し、児童生徒のあいだの物理的な距離が広がったこと、日常の授業におけるグループ活動や学校行事、部活動などさまざまな活動が制限され、子供たちが直接対面してやり取りをする機会やきっかけが減少したこと、年度当初に地域一斉休業があり夏季休業の短縮などが行われたものの、例年より年間授業日数が少ない学校もあったことなどをあげています。

本校では、十一月に今年度二回目のいじめアンケートを実施しました。その結果、「自分が嫌な思いをしたことあるか」との質問に「ある」と回答した生徒はいままでしたが、「友人が嫌な思いをしていたのを見たか」という質問に「ある」と回答した生徒が数名おり、生徒自身の感じ方と周囲の人間の感じ方が違うことを、学校としてもあらためて認識しました。

これからも、いじめに発展しそうな事案の早期発見につとめ、教職員・保護者・地域・教育委員会と密に連携しながら子どもたちの健やかな成長の一助になれるよう努めて参ります。



探究アワード 校内審査会

十一月四日(木)、日高町民センターにて、「探究アワード」地方審査会が行われ、今年度は四つのチームが探究してきたテーマについての発表を行いました。今年もそれぞれ日高町日高地区の持つ地域課題とその解決策について探究しました。

「日高の自然を生かしたアクティビティの具体化へ」日高沙流川オートキャンプ場の活性化へ向けての提言」というテーマで発表したAグループ(三年田中君、二年角田君、齊藤君、一年織田君、澤向君)が最優秀賞を獲得。「日高高校生による日高プレゼンツ日高オンラインツアー」をテーマに発表したBグループ(三年吉田君、二年前岡君、松澤君、矢田さん、一年関口君、松本君)が優秀賞を獲得しました。

この二チームは来年一月十九日に大雪自然の家で行われる地方ステージに進出します。この探究アワード・地方ステージを勝ち抜けば、全国ステージへとつながります。

三学期開始早々に大きな舞台での発表となりますが、これまで自分たちが取り組んできたことに自信を持って発表してきてください。

(文責 小高)



最優秀賞のAグループ



優秀賞のBグループ



全生徒町内でインターンシップを行いました



出前授業でエンジンを組み立てました



体育 テニポン大会



授業で期日前投票へ行きました

2学期の授業風景